

42年7月

【第60号】

発行所

編集発行人

大分県・日田・中津江村

川津一人

えんかつな報

助役に川津氏を再選

村議会 補正予算も決る

村は去る六月二十九日 定例村議会を開いて、助役選任など、九議案を提出し、いづれも原案のとおり議決を受けた。この日の主な案件は、助役選任 第一回補正予算でいづれも提案のとおり議決された。助役選任は現助役の川津氏が再任され、補正予算は今回二〇、三四三千元が追加され、総額が一六、〇七七千元となった。

議会は議員十一名が出席 一部、柿の谷、菊池線の一部の改良、引野、間地間の舗装工事の負担金で五七五千元がある。工事費の中には鯛生小の犬走りコトルを永久橋にする工事費二、〇〇〇千円。栃原地区集団移転地の給水工事費九、五〇〇千円がある。

各学校に追加すると共に、野田小のミルク釜などを買うことにしている。

財産購入では、栃原移転地内に、土木事務所、登記所、駐在所などの用地を村で買うためのものである。

歳入では村税の伸びを一、三〇〇千円みこみ、秋切線橋りよう改良の受益者負担金一、〇〇〇円四一年度からの繰越金の追加二、五〇〇千円、栃原地区移転地給水施設工事補償金九、四九九千円、その他川畑教員住宅、第一分団消防庫移転補償費など五、三一〇千円などが主なものとなっている。消防用の車も二台を買うこととなっている。

六月の議会で現農業共済事業運営協議会委員がいつれも再任された。農業共済は現在、家畜と水稲をおこなっている。委員の顔ぶれは次のとおり。

川良 停 永瀬勇雄
川良信男 長谷部吉武
高村国弘 永瀬幸男
永瀬 勇 岩下大吉
杉埜喜与次

同議会はまた 栃原集団移転地の小字を整理するため、打コシ、ウソノ谷、ウソ、湯ノ瀬の一部で、集団移転地にかかっているものをまとめ、字栃原とした。

このほか、同議会は健康保険税の一部改正、栃原地区代替地給水施設工事の、津江村開発公社への委託、農業共済組合への繰出金をそのまま組合に置くこと、及び農業共済条例の一部の改正をおこなった。

また日田郡五カ町村で作るし尿処理場の経過について、梶原巖議員から報告があつた。

再任されるに当りて

助役 川津 一冬



川津 助役

しております。

補正予算は二〇、三四三千元が追加された、この歳出の主なもの土木費の一三、四一〇千円、教育費の一、五三七千円、財産購入費の四、四〇九千円となっている。

土木費のなかでは、県道改修負担金一、七〇三千元がある、これは今年工事をすする間地部落、吉原部落内の県道と、鯛生、鹿本線の

ダム問題をはじめ、村づくり計画推進の重大な時期に、再び中津江村助役に選任され、責務の重さを痛感

非才な私が、どうか一期間、大過なく職責を全うすることができましたことは村民各位の御鞭撻の賜であります。厚くお礼を申し上げます。何卒今後とも公私を問はずお気付きの点がございましたら、温かいご叱声をお聞かせ下さいませようお願いいたします。

農業改善事業の指定さまる

43年から3年間

村は去る六月、国の農業近代化するため、共同栽培構造改善事業の指定をうけ、来年度からむこう三年間に、事業費約三、五〇〇万円、各種の事業をおこなうことになった。今年はこの準備期間として、事業のPRや、計画の作成にあたることになっている。

事業を大きく分けると、一、土地基盤整備事業、二、経営近代化の施設、三、特別認可事業にわけられる。この事業はどれも五戸以上の協業組織か、十戸以上の共同事業となっており、個人での事業は認められていない。

土地基盤整備事業では、機械力を導入できるように耕地にし、労力をはぶき生産コストをさげようというねらいである。農地整備、土地改良、農地造成、草地造成がある。農地整備では土地の交換分合などが考えられている。土地改良では、かんがい排水、畑地かんがい、暗きょ排水、客土、農道整備などがある。

経営近代化の施設では、水田作、畑作、特用作物園芸、畜産、養蚕の経営、近代化するため、共同栽培管理、共同処理加工、共同集荷所などの施設作りがある。

特別認可事業は、この改善事業の基準には合わないが、この村の特色を十分に考えて、農業構造改善事業の考え方にそつものを、特別に事業として認定する。

土地基盤整備事業には、おとことになつていゝ。事業費の補助については土地基盤整備事業には、おとことになつていゝ。

事業の指定を受けましたので、この改善事業のねらい、事業の内容をくわしくしつていただくため、関係の方に集つていただき、県農業会議が主催者となつて説明会を開きますので、是非御出席をお願いいたします。説明会の

期日は 七月二十六日午前十時から、場所は、中津江農協二階会議室、集つていただく方は、農業委員全員、農協役員、生産班長の方です。

説明会を

ひらきます

保健衛生だより

おむね七〇パーセント、経営近代化施設には五〇パーセントの補助となつていゝ。この事業の推進について

は、中津江農協が事業主体となり、各種の農業団体の代表で協議会を作り、事業計画の決定、運営をやつて行くことになつていゝ。

林業構造改善事業で、各部落に自動車が行くようになり、今度の農業構造改善事業にも期待が寄せられる

・乳児学級 役場にて 七月十八日午前九時半から十時まで受付、

・合瀬地区の成人検診 梅野、宮園、高迫地区を 七月十七日午前九時半から宮園部落で

・石場部落は七月二十四日 九時半から、石場公民館にて、

お地藏さんと

森下さん

本村の宮原部落から八女郡八知山部落に通ずる細い山道があります。宮原部落から二キロほどはなれた山道の右手に何時から、誰が建立されたかもわからない石の地藏さんがボツンと一人立つています。

この道を通る人の誰か一日このお地藏さんのおさい銭三十一円に、自分の浄財五百円を加えて村社会福祉協議会に寄

人里はなれたこの道にはあまり人の行き来もないようですが、地藏さんはいつも一人で左手にしゃくどうをもち、右手に丸い輪をつくつて、雨の日も風の日もそしてあらし

(産業課より)

第三日 家庭の日 は 皆んなで話そう

青少年を非行から守るとも、健全育成を積極的におしすすめるために、大分県青少年問題協議会では「家庭の日」を提唱し、また昨年十一月から県民運動の一環として「明るい家庭づくり」を呼びかけております。中津江村青少年問題協議会においてもこの趣旨に

するものであります。

「家庭の日」の実施内容については、七月に予定されている中津江村青少年問題協議会において審議し、具体的に要領がきまり次第各家庭にお知らせ致します。各家庭におきまして「家庭の日」制定に御協力下さいますようお願い致します。

（中津江村青少年問題協議会）

赤十字募金

ありがとう

昭和四十二年度日本赤十字社募金運動は、去る五月一日より三十一日まで一ヶ月間にわたり、全国一斉に実施されました。

本村の目標額は村民各位の御理解と温かい御協力によつて、募金目標額八万二千四百七十二円に達成しました。本募金は、赤十字社の精神である博愛と人導主

拳に基づいたあらゆる赤十字事業の資金の一部として使用されます。ここに目標額達成に際して皆さんの御協力に対して厚くお礼申し上げます。

電気事故

防止について

電線にはいつも電圧が加えられておりますので、電柱には絶対に登らないようにしてください。

電線にタコや模型飛行機がかかつたときには、もつとも近い電業所に連絡してください。

電線路附近で樹木の伐採をするときは立木の剣潰で感電を起したりしますのでかならず連絡してください。電線路に近い現場で、長尺物を扱う場合に誤つて、電線に接触したり、さく道が電線路に触れ感電死傷を起した例がありますので、注意してください。

豪雨に備えよう

豪雨に備えよう

台風、豪雨の季節です。家のまわりを見回つて、排水溝のごみをさらえたり、低い所には盛土をして大雨がきても床下に水が流れ込まないよう、今のうちに準備しておきましょう。

水の出やすいところでは飲料水に汚水がはいらないよう、食糧品は水びたしにならないよう整理しておいて下さい。また、強風のため停電になることが多いので、懐中電灯やローソク等は、手さぐりでも分る所に準備しておきましょう。



七月の和名を「ふづき」といいます。「文月」が縮まつて、「ふづき」と呼ばれたとしておりますが、なぜ七月が「文」に関係があるのでしょうか。

奥義抄という日本の古い書物によると「織女にかすとして書をひらく故に文月という」とあります。また中国では七月七日曝書をする行事が行なわれたことが日本に伝わつて、この月を文月と呼んだともいわれています。いずれにしても、その名をとつた

ていました。英語では、J.V.I.Y. ローマの政治家ジュリアス・シーザーが西暦紀元前百

年の七月十二日に生まれました。その名をとつたものです。

社会を明かろく

七月は運動月間

七月一日から七月三十一日まで社会を「明かろくする運動」実施月間

一、趣旨

社会を明るくする運動はすべての国民が犯罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動であります。

本村においても、村社会福祉協議会並びに村青少年

二、重点目標

「青少年の非行防止」青少年の非行防止は、明るい社会をつくるために緊急な事である。そのためにはそれぞれの機関あるいは家庭、学校、職場その他すべての社会環境の健全化を図るとともに、非行に陥つた青少年が立派に立直るよう温かい手を差し伸べるこ

とが必要である。今回の運

三、期間

昭和四十二年七月中

この運動の目標が達成されるように村青少年問題協議会においては、各種機関団体の積極的参加協力を得て、別途地区の実情に応じた効果的なものを選定してそれぞれの機関あるいは家庭、職場を通じて推進することにしておりますので、住民各位の御協力をお願いします（社会課より）

伐木士の資格を

八月に講習会開く

林業労働災害防止規程によ

り、伐木、造材士認定に必要知識と技能の習得を図る者
 一 伐木 造材の作業に二ケ年以上従事した経験のある者
 二 今後伐木、造材の作業として、次の要領によつて講習会が開催されますので、講習会開催期日
 一 期日 八月十七日午前九時より
 二 場所 川辺小学校

受講対象者
 一 受講料 一人 三七〇円
 二 受講申込
 七月三十一日までに受講料を添えて中津江村森林組合に申込み下さい。

三 講習科目
 安全の基礎知識
 関係法令
 チェンソーの知識と取扱
 伐木造材の方法

運動費を公表

村長村議選の結果

去る四月二八日執行の中津江村長、村議選における各候補者の選挙運動費用が、公職選挙法の規定によつて、選挙管理委員会から公表された、その要旨は次のとおり。

川野信男	二、三、八〇〇円	鷹野 勉	七、〇五〇円
川辺 弘	二〇、四三九円	武原芳郎	五、五五〇円
川良 停	九、六〇〇円	永瀬勇雄	五、三七五円
齊藤隆一	〇円	永瀬 勇	三、七〇〇円
		長谷部直徹	五、二四〇円
		矢原金吾	五、二〇〇円
		渡辺親助	五、二〇〇円

違反が四一件

新聞は毎日交通事故を報道しています。中津江村で他二〇件で計四七件が中津江村の関係、となつてい

ます。県と各町村は一緒にな

つて交通事故防止、安全対策を立て、運動しています。皆さんの協力を願います

(4)

百歳も若い元氣なヨガの道やわ肌あつき君や尋ねん

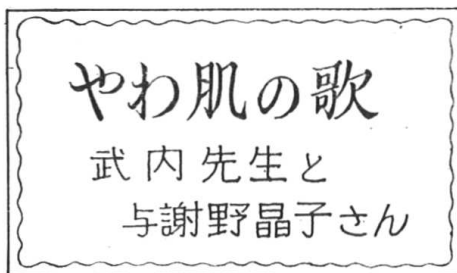
この歌は、昨年十月、八十二歳で亡

られた武内先生が、ノートに書き残されてあつたものです。歌の意味は、ヨガの道を修行して百歳になつても若々しく元氣で、やわ肌あつき君を訪問しよう、ということだと思ひますが、先生の真意は、百歳まで長生きしたい若い女性を相手にするだけの元氣を失いたくない、ということだと思ひます。

ヨガという言葉の意味は百科全集に、つぎのように説明してあります。印度の原住民の間には静座瞑想にふける風習があり、これに宗教的な意味が加つたのがヨガ修行法で、仏教やジャイナ教にも採用され、とくに仏教では禪宗を生み出した。

呼吸の抑制、感官の統御心統一によつて、超自然的な力を得る修業法をさす。現代日本に流行するヨガは、美容体操や健康法の性格をおびたものである。

武内先生は百歳を目標に食餌法、入浴法などいろいろと工夫研究され、根強く実践をつづけて居られたようです。武内先生の歌で連想されるのは、毎週月曜の夜、放送されているテレビ劇「みだれがみ」主人公、馬、んの歌で



やわ肌のあつき血潮に触れもみで悲しからずや道をとく君
 この歌は男性の無情を批難したものと
 思われますが、武内先生の歌は、この
 晶子さんの歌に對しさわやかな返歌だ
 と思ひます。先生は、晶子さんの歌を
 知つて居られて、この歌にあやかりご
 自分の歌を作られたのではないかと思
 います。ともあれ、先生の人間味豊か
 な一面を示されたなつかしい歌ですテ
 レビ劇「三姉妹」に登場す
 る高杉晋作が好んで歌う自
 作の里謡に
 三千世界のカラスを殺し
 主と朝寝がしてみたい
 というのがあります。表
 向きは、男女の情愛を歌つ
 たものですが、その真意は
 幕府を倒し、平和な君主の
 御代にしたい、ということ
 だと思ひます。誰の作かわ
 かりませんが、つぎのよう

な里謡もあります。しわは寄つてもあの梅干は色氣はなれぬ酔なやつ
 人間は、死ぬるまで色氣を離れられ

ないものかも知れません。戦国時代の

名將小早川隆景の壁書に
 おもしろの好色や身をほろぼさぬほど
 とあります。蒸発事件や失跡事件を起
 さないよう注意せねばなりませんまい。

社会教育係 麻生 進